

UNITE
FOR
GOOD

春日井ロータリークラブ

2025-26 WEEKLY REPORT

クラブ方針

Rotary
Club of KASUGAI



「会員同士そして世界に親睦の輪を広げ絆を強めよう！」

会 長：速水 敬志
副 会 長：成瀬 浩康
副 会 長：大西 信之
幹 事：芝田 貴之
会報委員長：風岡 明憲

事務局：春日井市鳥居松町5-45
T E L： 0568-81-8498
F A X： 0568-82-0265
E-mail：info@kasugai-rc.org
H P：https://www.kasugai-rc.org/
例会場：ホテルプラザ勝川



2025年10月24日（金）2646回（10月第3例会）

本日のプログラム

- ・点鐘
- ・ROTARY SONG
- ・今月の歌
- ・ビジター・ゲスト紹介
ホテルプラザ勝川
- ・委員会報告
- ・PHF+4バッジ授与
- ・会長挨拶
- ・卓話
- ・幹事報告
- ・点鐘

会長
「日も風も星も」
「旅愁」
会長
取締役総支配人

会長
幹事
会長

司会 会場委員会

速水 敬志君

速水 敬志君
吉満 知也様

古屋 義夫君
速水 敬志君
吉満 知也様
芝田 貴之君
速水 敬志君

小松菜洋風お浸し パリパリさつまいも添え
紅芋のポタージュスープ
秋刀魚の串焼き海苔ソース タコとマッシュ
ルームのコンフィ 骨の唐揚げ添え
ご飯
デザート
コーヒー

今月の歌

「旅愁」

更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとりなやむ
恋しやふるさと なつかし父母
夢路にたどるは 故郷(さと)の家路
更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとりなやむ

例会予定	10月31日（金）	11月9日（日）	11月21日（金）	11月27日（金）
	休会	11月7日（金）例会変更 地区大会 豊川総合体育館	卓話 ロータリー財団 委員長 大原 泰昭君	休会

先週の記録

会長挨拶

会長 速水 敬志君

本日は本来なら今月10/24は世界ポリオデーなのでポリオ0の話をする予定でしたが予定を変更して直近の報告と姉妹クラブであるセブRCからのプロジェクト参加要請の話をして頂きます。

まず先月9月24日、名古屋市東区東桜の「神楽家」さんにて、グルメ同好会を開催いたしました。趣ある落ち着いた和の空間で、季節の食材をふんだんに使った懐石料理を堪能しながら、会員同士の親睦を深めました。終始和やかな雰囲気の中で、美味しい料理と会話を楽しむひとときとなりました。ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

9/30日、地区補助金を活用した青少年奉仕事業として、春日井警察署へ交通安全教材用のダミー人形を贈呈いたしました。この教材は、小・中学生を対象とした交通安全教室などで使用され、児童生徒の交通安全意識向上に役立てられます。贈呈式は春日井警察署にて行われ、署長をはじめ交通安全協会会長など関係者の皆様にご出席いただきました。

10/2日、春日井市主催の「ゴミポイ捨て捨て防止啓発キャンペーン」に参画いたしました。当日は勝川駅周辺にて、市民の皆さまに向けた啓発活動を行い、地域の環境美化とマナー向上を呼びかけました。当クラブからは会員14名が参加し、市職員や春日井市内の奉仕団体の皆さまとともに、清掃活動および啓発チラシの配布を実施いたしました。今後も地域に根ざした奉仕活動を通じ、きれいで住みよいまちづくりに貢献してまいります。

ここからは姉妹クラブであるセブRCよりISOタンクプロジェクトへ参画のお願いがありそのお手紙を記載します。

春日井ロータリークラブ 速水会長 2025年8月4日
本日は、私たちの地域の災害対応能力を向上させる重要なプロジェクトへのご支援をお願いしたく、お手紙を差し上げました。

ご存じの通り、フィリピンでは大規模な火災、および台風、地震などの自然災害が毎年多数発生いたします。そのような災害が起こるたびに、数百世帯が住居を失い、最も基本的な生活必需品である水さえも手に入らない状況に陥ることになります。

このような課題に対応するため、私たちは25,000リットルのISOタンクを導入し、被災地に非飲料水を迅速かつ効率的に供給する計画を立てています。これらのタンクは、以下のような災害対応において重要な役割を果たします：

- ・脆弱な地域における火災の消火および予防のための水の供給
- ・被災者や避難所における衛生保持・洗濯など生活上必要な水の提供
- ・被災世帯の即時復旧支援

たいていの場合、飲料水は多くの支援団体から十分な量が送られてくるのですが、調理、洗浄、衣類の洗濯、手や体を洗うための水といった大量に必要な生活用水は十分な供給が行われないことがほとんどです。非飲料水の安定かつ迅速な供給を確保することで、被災者のさらなる苦難を軽減し、公衆衛生の改善と早期復旧を促進することが可能となります。

「超我の奉仕」という共通の理念を持つロータリアンとして、このプロジェクトの実現に向けて、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。皆様の寛大なご寄付は、命を救い、人々の尊厳を回復させ、絶望の中に希望をもたらす直接的な力となります。

春日井ロータリークラブの皆様とこの意義深い取り組みでまた一緒できますことを心より願っております。詳細な計画、予算、影響評価などにつきましては、いつでもご説明させていただきます。

この度のご検討、そして人道的奉仕への揺るぎないご尽力に、心より感謝申し上げます。

敬具

チャールズ オン
2025-2026年度 ロータリークラブ・オブ・セブ会長

ここからは9/30に発生したフィリピンセブ島沖地震を受けて私が恩田さんに送ったメールへの返信メールを記載します。

現地時間9/30のセブ島沖地震の恩田さんよりの返信

一昨日、北部に救援物資を届けに行って来ました。我々だけでなく、セブ市から大量の人々が救援物資を持って北部に向かったようで、北へ続く道は物凄い大渋滞で、朝4:30に出発したものの、最初の目的地に着いたのは朝10時を過ぎていました。我々は市街地や幹線道路に近いエリアを避け、山間部の村落三ヶ所に救援物資を届けたのですが、そういったところでは木造の軽い建物が多いので、建物自体への被害はそれほどでもないものの、地滑りで家ごと飲まれた人々もいて、地震の傷痕を感じました。我々が行ったエリアは元から水道が通っていないエリアだったようですが、北部の多くのエリアではすでに電気は復旧したようですし、水も追って復旧するものと思われます。三ヶ所を回って水と食糧、一時的に屋根として使えるターポリンなどを配り終え、セブに全員が戻って来たのは夜の10時くらいでした。また今週末に今度はトタン屋根を届けに行く予定です。

北部に行っても実際に見た感じとしては、地震の被害は台風オデットの時と比べると微々たるものだなということです。地滑りや建物の倒壊によって亡くなられた人もいますが、倒壊した建物の数はオデットの時と比べるとごく僅かです。ライフラインに断絶も電柱があまり倒れなかったせいで、オデットの時と比べると、格段の速さで復旧したようです。山の中のサリサリストアにも普通に水やソフトドリンクが売られていたもので、物流も途絶えていないようですし。しかしセブの人には驚かされます。世界中どこを探しても、救援物資を届ける民間人が多すぎるせいだけの大渋滞が起きる国、都市はなかなか見つからないと思います。

とりあえず、今回の地震に関しては今まで色々なところから集まって来た支援で十分だと思います。

以上、ですがこの2点につきましては『超我の奉仕』の理念に基づいてプロジェクトと義援金をクラブより送金させていただきます。

出席報告

会員 52名	出席30名	出席率57.7%
先々週の修正出席	休会	

ニコボックス報告**委員長 筒井 康広君**

○栗木社長ようこそ！赤池様、卓話 速水 敬志君
楽しみにしています

○お腹周りがもっとへこみますよう 加藤久仁明君
に

○災害ボランティア愛・知・人代表 古屋 義夫君
赤池様卓話楽しみです！

○明日、高蔵寺秋祭り！雨よ降らな 青山 博徳君
いで！

○伊東会長、ようこそ春日井へ 大原 泰昭君

○成瀬さん、先日は大変お世話にな 加藤 茂君
りました

○卓話楽しみにしています 川瀬 治通君

○来る10月25、26日に第75回春日井 北 健司君
市秋季バラ展を開催致します

○小牧RCの皆様ようこそ！！ 鈴木 克幸君

○涼しくなりました。夏バテを早く 松尾 隆徳君
治し秋空のもと明るく！！

○会員増強へのお力添えお願い致し 水谷 高広君
ます

○卓話楽しみにしています 和田 了司君

○卓話楽しみにしています 岡本 博貴君

伊藤 正樹君 岩村 幸正君 小柳出和文君
加藤 宗生君 木野瀬将大君 近藤 太門君
清水 勲君 塚本 笑子君 成瀬 浩康君
野浪 正毅君 野間 峰彦君 森部 清孝君
下別府正樹君 山本 直嗣君

○ご協力ありがとうございました。
ニコボックス委員会一同

愛・知・人 とは

愛知県のメンバーで発足したことで
「愛を知る人々」という意味から名前をつけました



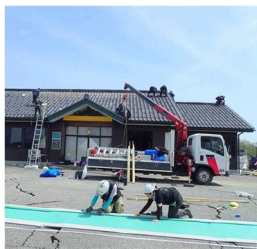
- ・メンバーは全国に約850名
活動で知り合い、愛知人のコンセプトに賛同頂き一緒に活動する方々がこの15年でたくさん増えました
- ・誰もがひとつは得意なことがあります。
「できる人が・できるときに・できることをする」
- ・一人でも多くの方に活動に加わっていただくために、入会金・年会費は頂いておりません。

これまでの主な活動

2011年の東日本大震災では宮城県石巻市での泥出し作業に始まり東松島市の仮設住宅で炊出しや復興イベントのお手伝いをし、今も交流を継続しています。
その後は毎年起きる全国の水害・地震被災地で活動。
2015年 常総市から災害ボランティアの運送に限り1ヶ月滞在。
2016年 熊本地震では民間ボラセンを開設し半年間運営しブロック崩壊や屋根のブルーシート張り等の支援活動を実施。
2017年 九州豪雨（日田市）
2018年 4月島根地震：大田市、6月大阪地震：吹田市、7月豪雨：広島坂町・大洲市・関市
9月台風21号岸和田市
2019年 9月九州豪雨：多良市、台風15・19号木更津市・長野市。
2020年 九州豪雨：芦北町
2021年 2月福島地震：桑折町・山元町
7月豪雨：沼津市・8月豪雨：武蔵市
2022年 3月福島地震：桑折町・国見町、
8月豪雨（村上市）、台風（駿河区・清水区）
2023年5月能登半島地震：珠洲市
6月豪雨：沼津市、7月豪雨：美祿市
8月豪雨：綾部市
2024年1月：能登半島地震・豪雨：珠洲市
2025年8月：令和7年8月豪雨（福津市）
専門的な知識や技術をもったメンバーが仲実リーダーとなる人材を育成中。



ニーズ④屋根のブルーシート張り



ニーズ⑥重機案件





会長挨拶



ビジター挨拶(あまRC 栗本和夫君)



ビジター挨拶(小牧RC 伊藤聖史会長・水野清香幹事)



米山奨学金授与(陳 奕先様)



卓話(災害ボランティア愛・知・人 代表 赤池博美様)



幹事報告